

地震防災対策チェックリストの使い方

チェックリストは、家庭で行う地震防災対策について示したものになります。

来る可能性の高い大震災に備えて、「自助」を強化し、自分と家族の命を守りましょう。

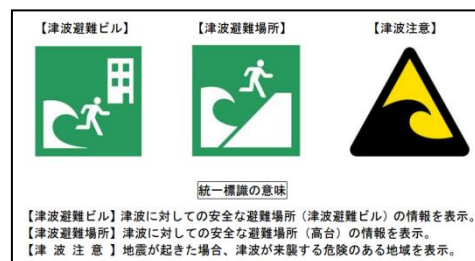
また、地域支援者の方々も、訪問時などにチェックリストを活用し、地域で支え合う体制の強化を図りましょう。

予測規模	最大震度	最大津波高(m)
半田市	6強	3.6
阿久比町	6強	—
東浦町	6強	2.9
南知多町	7	4.9
美浜町	7	3.9
武豊町	6強	3.4

平成23年度～平成25年度
愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果

1 被害想定等について

- ・地域の被害想定については、各市町村が発行している防災マップを確認する。
- ・津波被害の予測がある場合、周囲の利用可能な津波避難ビルの場所を必ず確認しておく。



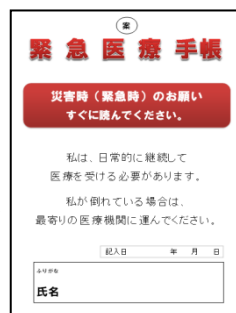
総務省消防庁ホームページより

2 自宅の中の状況について

- ・出入り口を塞がないよう、出入り口付近には大きなタンス等を置かないようにする。
- ・S56.6.1に施行された改正建築基準法施行令にて耐震基準が見直されたが、それ以前に建築された建物は耐震性が確保されていない可能性があるため、耐震診断等の対策を講じる必要がある。
- ・地震による火災対策として、暖房器具周辺の可燃物整理や感震ブレーカーの設置がある。

3 備えについて

- ・エアマットや電動ベッドを使っている場合、停電時の対応（エアマットの空気口の固定や手動での角度調整等）について確認しておく。
- ・緊急医療手帳（医療情報提供書）は、訪問看護師等の協力を得て最低年1回は内容を見直し、加筆修正を加える。



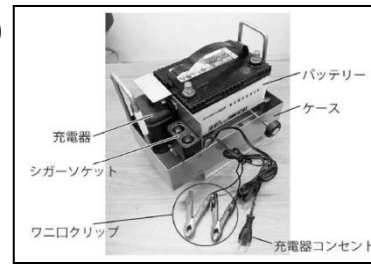
半田保健所健康支援課作成

【非常用電源について】

- ・機材の点検も含めて、最低年に1回は使用する。
- ・バッテリーの他に、いくつかの非常用電源（インバーター発電、自動車のシガーソケット、太陽光発電等）を確保する。ガソリンを使う場合、日頃から常に満タンにしておくように心がける。
- ・充電ができるものは日頃から充電を行い、すぐに使用できる状態にしておく。
- ・日常的に電気が必要であることを電力会社（中部電力半田営業所 Tel.0120-985-740）に伝え、計画停電の予告や緊急連絡時の速やかな対応について連絡しておく。

非常用電源の持続時間計算（準備してあるものにチェック）

- 内部バッテリー _____ 時間
- 外部バッテリー（メーカー純正品推奨） _____ 時間
- 車のシガーライターソケット（インバーター使用） _____ 時間
- 発電機（外部バッテリーへの充電を推奨） _____ 時間
- その他（ _____ ） _____ 時間



（参考）国立長寿監修のバックアップ電源

【人工呼吸器について】

- ・バックバルブマスクを準備し、確実に実施できるよう平時に練習をしておく。
- ・内部バッテリー、外部バッテリー合わせて8～12時間確保する。基本的に、内部バッテリーは最後の砦と考え、積極的には使わないよう認識し、外部バッテリーのみで対応できるように準備(外部バッテリーは、2台以上確保)しておく。
- ・電気を必要とする加温加湿器の使用についても主治医と相談(可能であれば人工鼻で代用等)しておく。
- ・準備したものは人工呼吸器会社に使用可能か確認をとっておく。



バックバルブマスク
(アイ・エム・アイ株式会社HPより)

【吸引器について】

- ・吸引器は内部バッテリーがあれば、1回の使用時間が短いため、ある程度は継続して使用できる。
- ・非電源式の吸引器を使用するには訓練が必要となるため、日頃から操作方法の確認を行う。
- ・医療機器の地震による破損には特に留意して、機器の固定は必ず行う。

参考

足踏み式吸引器(新鋭工業株式会社HPより)

電池式吸引器(株式会社日本メディックスHPより)

シリンジとカテーテルを組合せた吸引器



4 情報連絡等について

- ・緊急時の連絡先は目に付く場所に掲示する。
- ・避難するときの介助者の確保には近隣の住民や地区防災組織等の協力が不可欠となる。
- ・災害時は携帯の発信規制がかかること、メールや固定電話、公衆電話の方が機能しやすいということを認識しておく。

5 避難所に避難する場合・・・

- ・避難所までの避難経路は、複数考えておく。(古い木造住宅の密集地やブロック塀や石垣の傍は倒れてくることがあるため、なるべく避ける。)
- ・日頃から外出の経験がある場合、外出時に必要な物品がまとめてあることが多く、災害時に外に出る場合でも、外でのトラブルについてイメージが付いている。
- ・福祉避難所、救護所の情報も確認しておく。

避難場所	避難所	福祉避難所	救護所

6 自宅で避難生活を送る場合・・・

- ・最終的にどの時点で避難を決断すべきか考えておく。医療依存度が高ければ、自家発電施設の整った病院へ入院できるように日頃から確認をしておく。
- ・避難所には、掲示板に様々な情報が貼りだされるため、定期的に避難所での情報を収集できるよう人員の確保に努める。